



2022年3月期 決算説明資料

2022年4月26日

株式会社トーメンデバイス

(証券コード：2737)

<https://www.tomendevices.co.jp/>

本資料に掲載されている株式会社トーメンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確定の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I

2022年3月期 連結決算概況

II

2023年3月期 連結業績見通し

III

中期経営計画の進捗

売上高・利益・配当額すべて過去最高を達成

売上高
4,628
億円

ご参考)
前期実績
3,024億円

純利益
64億円

ご参考)
前期実績 34億円

配当額
300円

ご参考)
前期実績 170円

ROE
18.0%

ご参考)
前期実績
10.8%

2022年3月期 連結業績サマリー

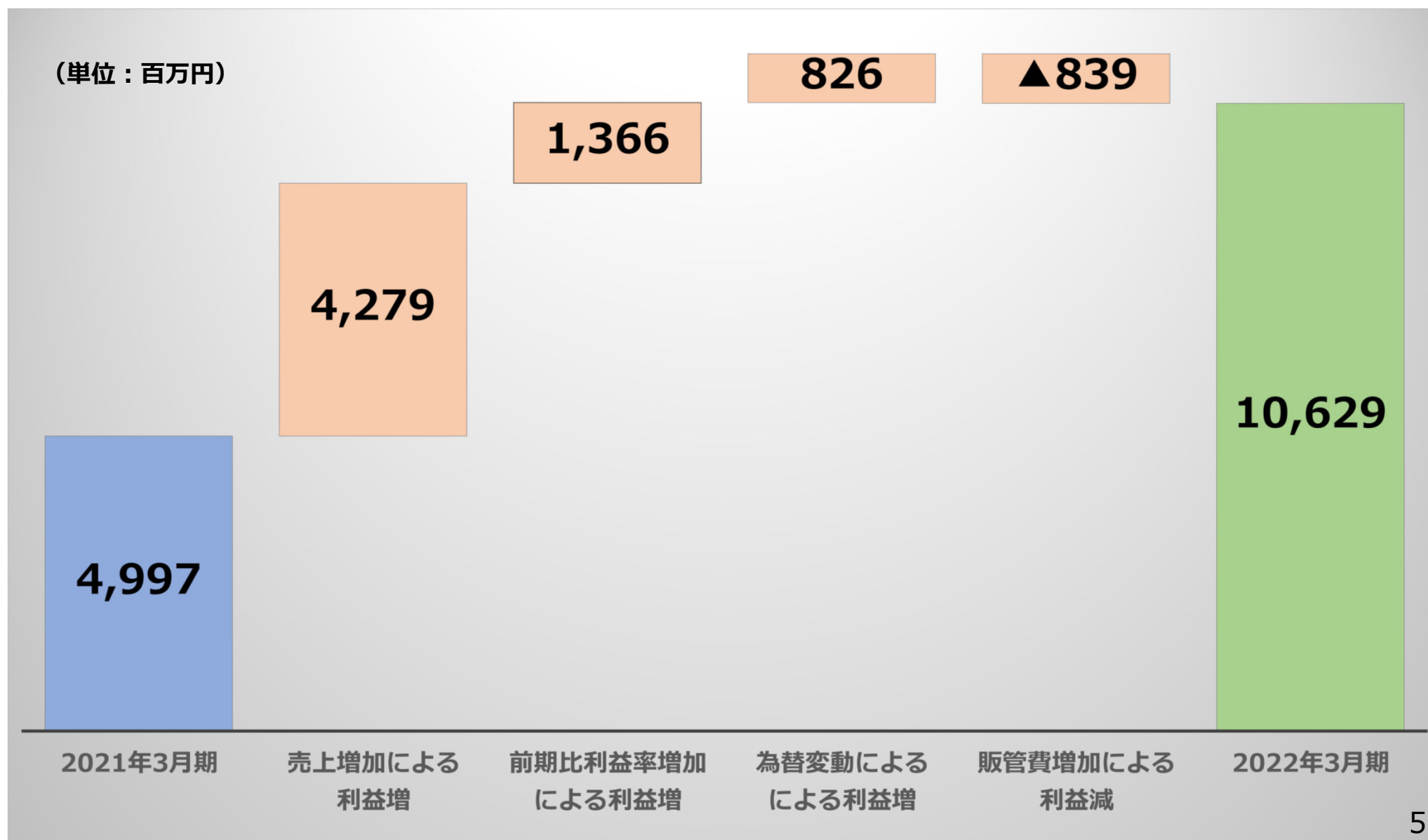


- サーバー、ストレージビジネスの拡大
- 中国市場において、スマートフォン向けMCPシェア拡大
- 価格の高騰、半導体製品の需要増加
- 半導体不足の中、メモリー供給維持・拡大

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	302,385	462,822	160,437	53.1%
営業利益	4,997	10,629	5,632	112.7%
経常利益	4,561	8,478	3,917	85.9%
純利益	3,446	6,379	2,933	85.1%
1株当たり純利益 (円)	507	938	—	—
総資産	119,889	116,990	—	—
純資産	32,801	39,364	—	—
1株当たり純資産 (円)	4,729	5,674	—	—
自己資本比率	26.8%	33.0%	—	—

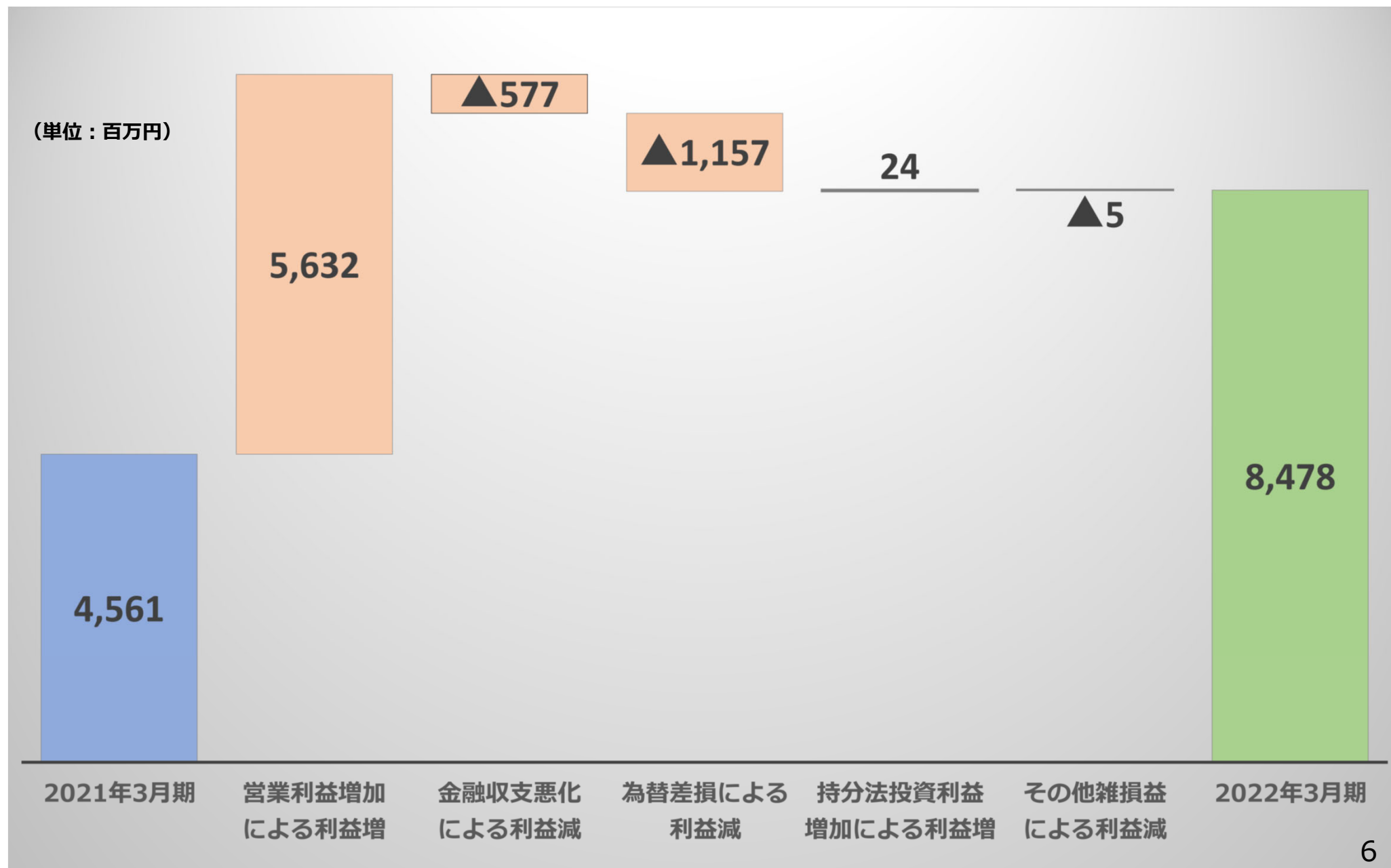
営業利益増減要因

- ✓ 売上は過去最高を更新し、売上増加及び利益率の改善により前期比増益

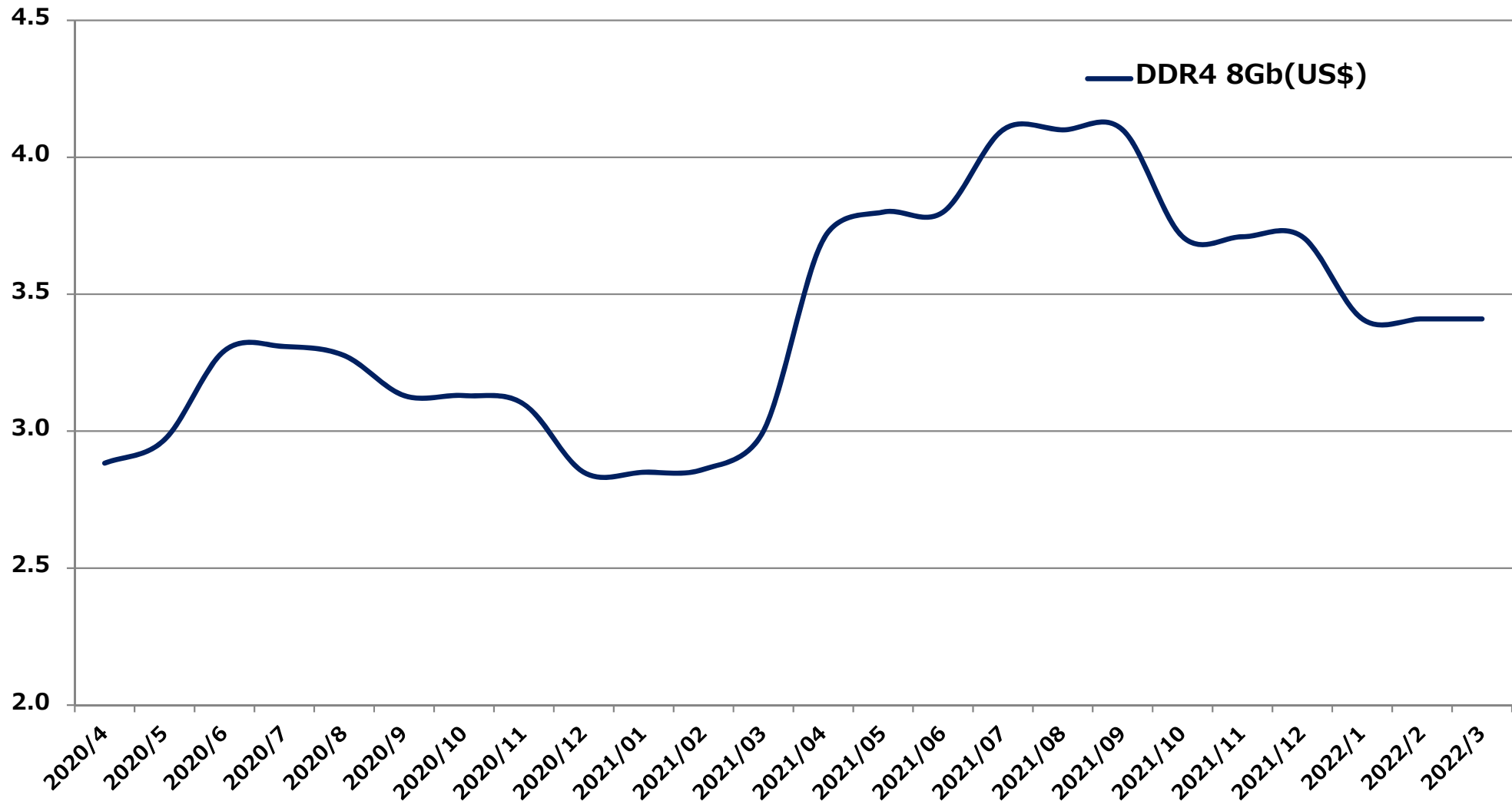


経常利益増減要因

✓ 主に営業利益の増加により増益となった



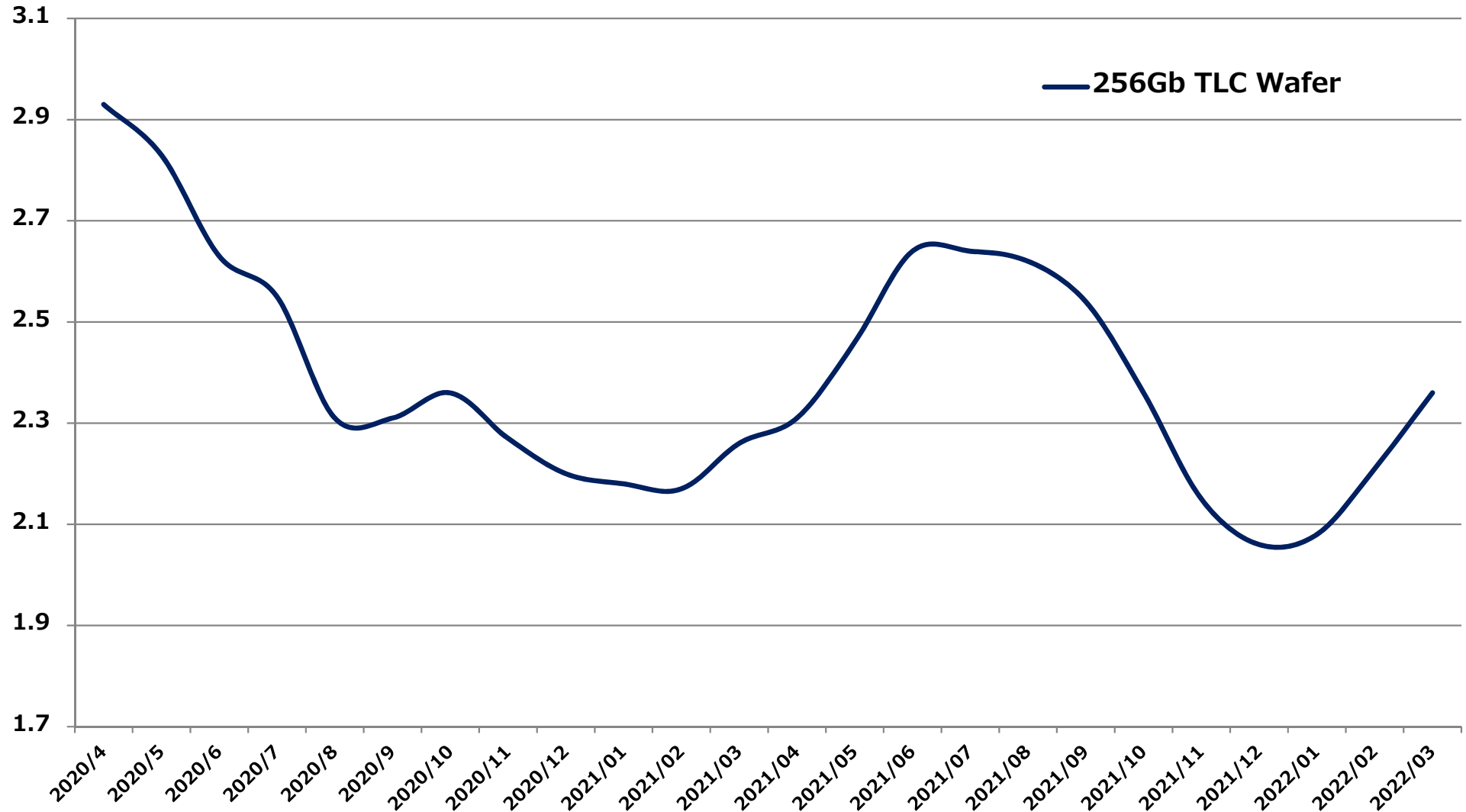
底打ち感が出てきており、値下がりペースは緩和の見通し
(大口価格)



(単位 : USドル)

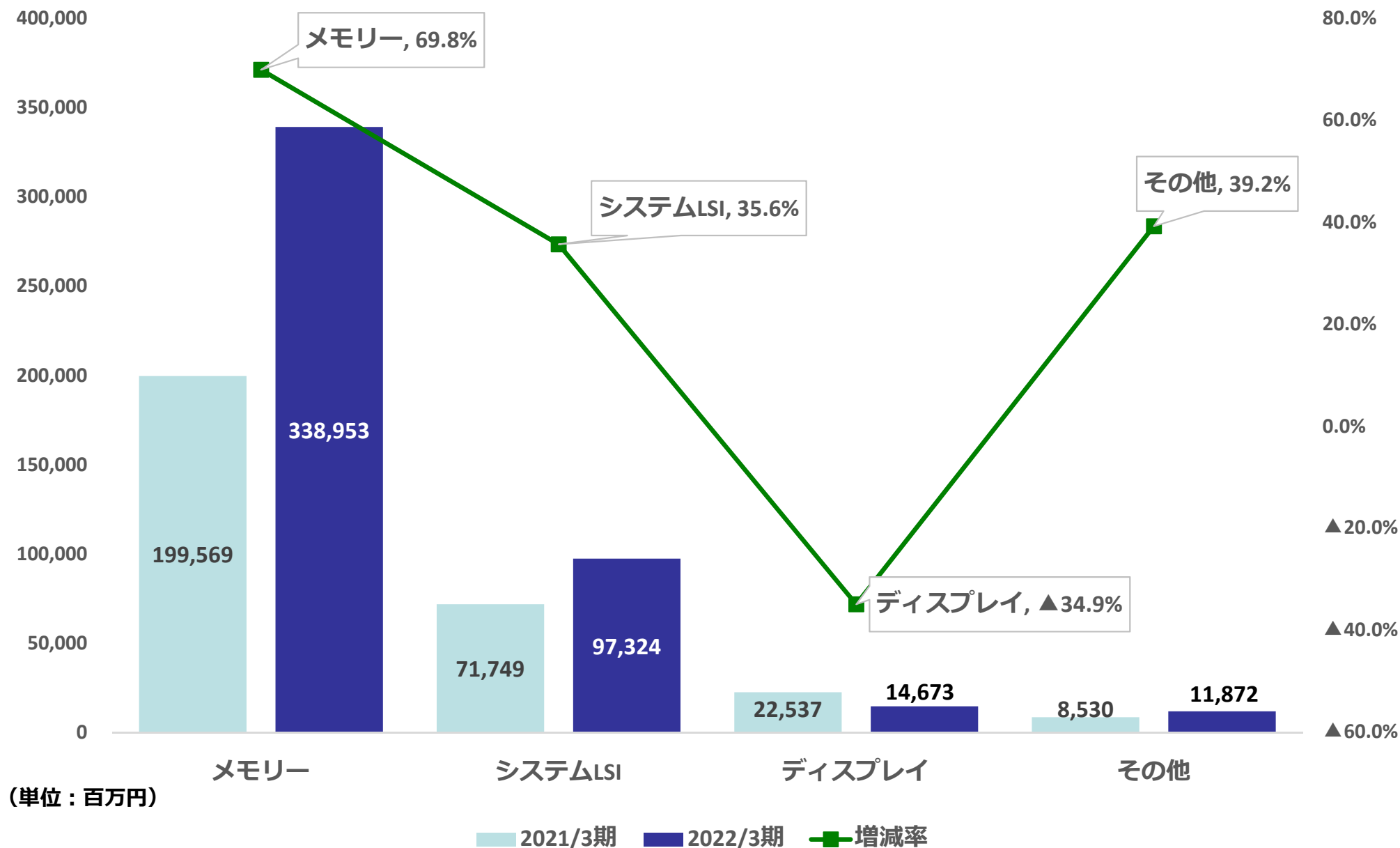
(出所) 各種資料をもとに当社で作成

足元の供給不安より価格が上昇



2022年3月期 商品別 売上高推移

✓ DX需要/スマホ向けメモリー製品の売上急拡大



(参考) 2022/3月期より液晶デバイス ⇒ ディ스플레이 (液晶デバイス+有機EL) へ区分変更

2022年3月期 商品別売上高増減要因

メモリー +69.8%

- PC向けにDRAM、データセンター向けにNAND FLASH製品の売上拡大
- 中国市場でスマートフォン向けMCPの販売増加

システムLSI +35.6%

- 国内市場でファブドリーおよびSiPビジネス売上拡大
- 市場中国市場でCISビジネス堅調に推移

ディスプレイ ▲34.9%

- サムスン電子TV用液晶から撤退、有機ELへシフト
- スマートフォン向け有機EL販売減

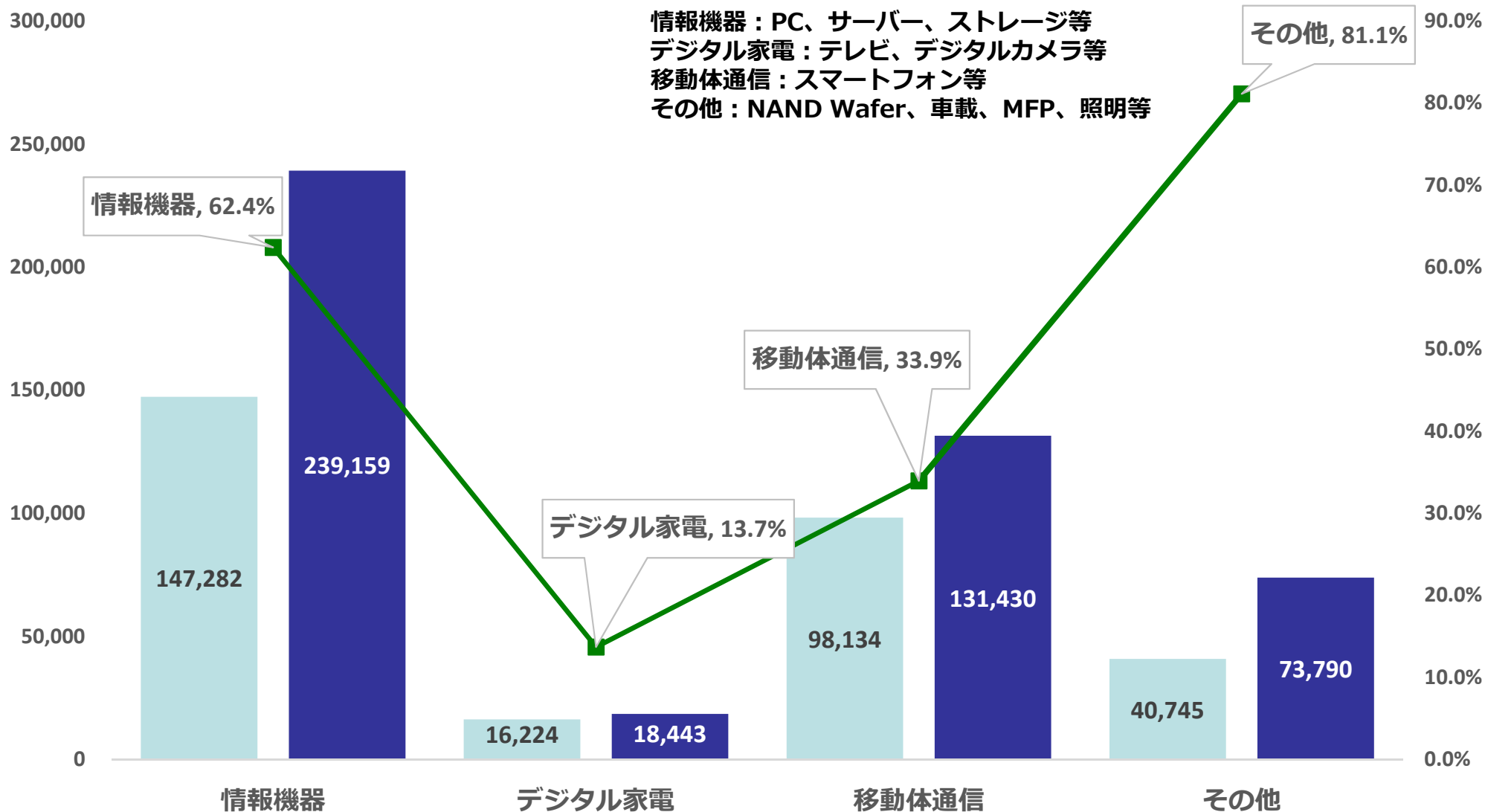
その他 +39.2%

- MLCC、テレビ向けLEDの売上増加

2022年3月期 用途別 売上高推移

✓ サーバー、ストレージ、PC向けにメモリー拡販

情報機器：PC、サーバー、ストレージ等
 デジタル家電：テレビ、デジタルカメラ等
 移動体通信：スマートフォン等
 その他：NAND Wafer、車載、MFP、照明等



(単位：百万円)

■ 2021/3期 ■ 2022/3期 ▲ 増減率

(単位：%)

2022年3月期 用途別売上高増減要因

情報機器 +62.4%

- サーバー・ストレージ向けにメモリー拡販
- PC向けにメモリー、タブレット向けにモニター拡販

デジタル家電 +13.7%

- TV向けのメモリー拡販

移動体通信 +33.9%

- 中国市場でNAND FLASHおよびMCP拡販、CIS堅調
- 国内市場でもMCPの売上増加

その他 +81.1%

- 車載（主にメモリー）関連が売上に貢献
- コロナ禍で複合機向けメモリー売上増加

I

2022年3月期 連結決算概況

II

2023年3月期 連結業績見通し

III

中期経営計画の進捗

外部環境

- ロシア、ウクライナ戦争の、コロナ再拡大による中国のロックダウンの世界経済への影響
- リモートワークによるPC需要など巣ごもり需要の一服感と、5G普及、及び、DX需要の拡大継続
- 半導体不足による生産制限の継続
- カーボンニュートラル等サステナビリティへ課題の取り組み

内部環境

- 予測困難なVUCA時代の環境下への対応（しっかりしたビジネス基盤、チャンスやピンチを逃さない体制、仕組み作り）
- ウィズコロナ時代における顧客や取引先との関係性維持、向上
- DX含むデジタル化、機能強化への対応
- リスク管理の一層の徹底および足元の強化
- 社員の意識改革、人材育成

2023年3月期 通期業績予想

データセンター需要は強いものの、当社のメインビジネス市場での需要は弱含み。メモリー以外の電子部品・半導体の供給不足による生産制限が継続し、メモリー価格は前期比低めで推移すると予想。

(百万円)	2022年3月期		2023年3月期		対前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	462,822	100.0%	440,000	100.0%	▲22,822	▲4.9%
メモリー	338,953	73.2%	311,688	70.8%	▲27,265	▲8.0%
システムLSI	97,324	21.0%	102,401	23.3%	5,077	5.2%
ディスプレイ	14,673	3.2%	12,569	2.9%	▲2,104	▲14.3%
その他	11,872	2.6%	13,342	3.0%	1,470	12.4%
営業利益	10,629	2.3%	7,700	1.8%	▲2,929	▲27.6%
経常利益	8,478	1.8%	7,000	1.6%	▲1,478	▲17.4%
純利益	6,379	1.4%	5,500	1.3%	▲879	▲13.8%

国内

- サーバー・ストレージ向け NAND FLASHの拡販継続
- 車載Biz深耕
- Foundry Biz拡大

海外

- アジア市場でのマーケットシェア拡大
- 車載ビジネス事業拡大

共通

- リスクマネジメントの徹底
- 中計PJの加速（マーケティングチーム、DX2.0、人材育成）

メモリー

- NAND市場の拡大化、新規ビジネス獲得
- 車載D/I強化

システムLSI・ Foundry

- 技術サポート力の強化
- Foundry 拡大、キャパ確保へ

ディスプレイ

- 有機EL採用拡大
- 車載向けプロモーション強化

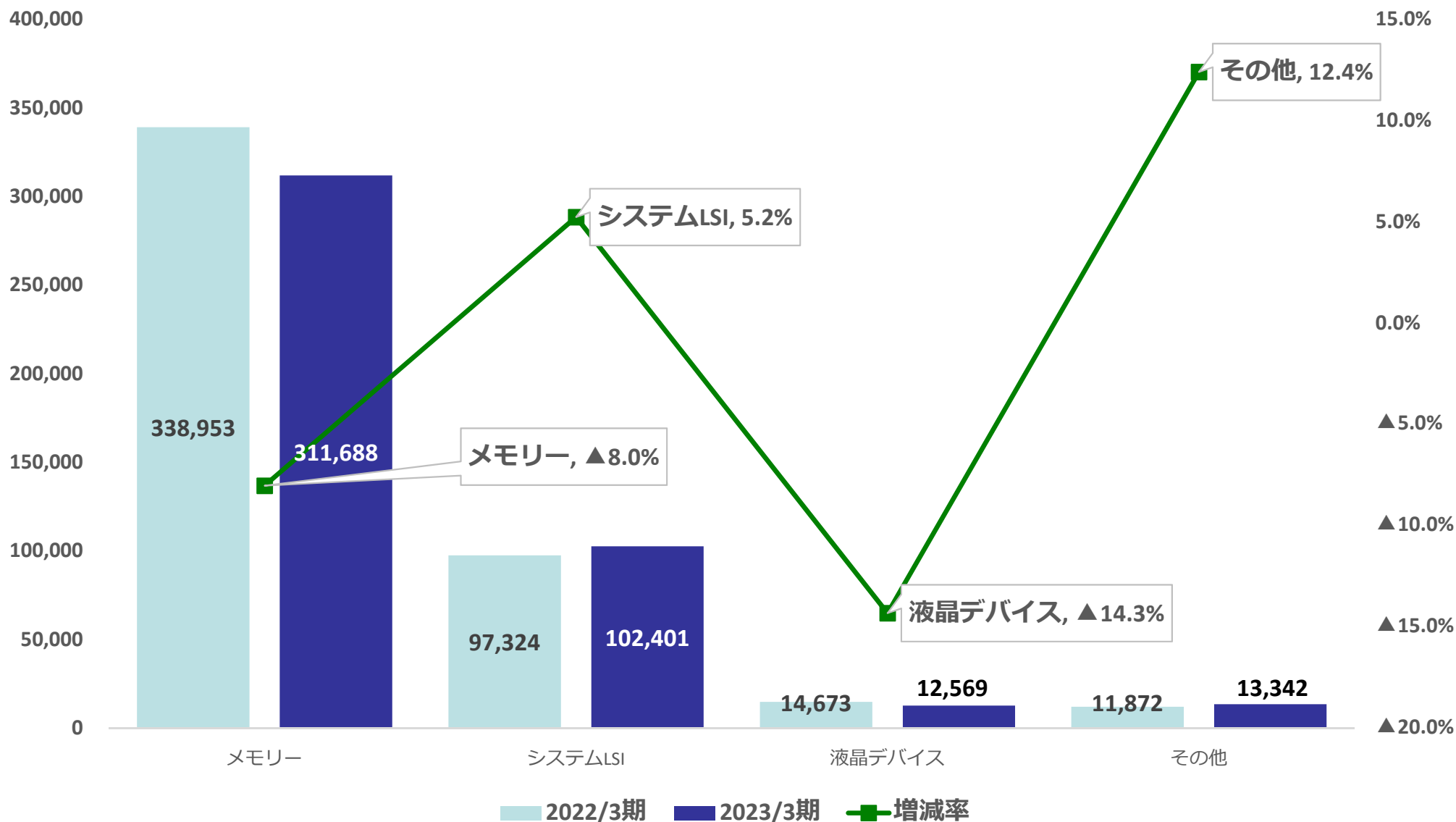
その他

- 新規商材戦略の策定

2023年3月期 商品別 売上高推移

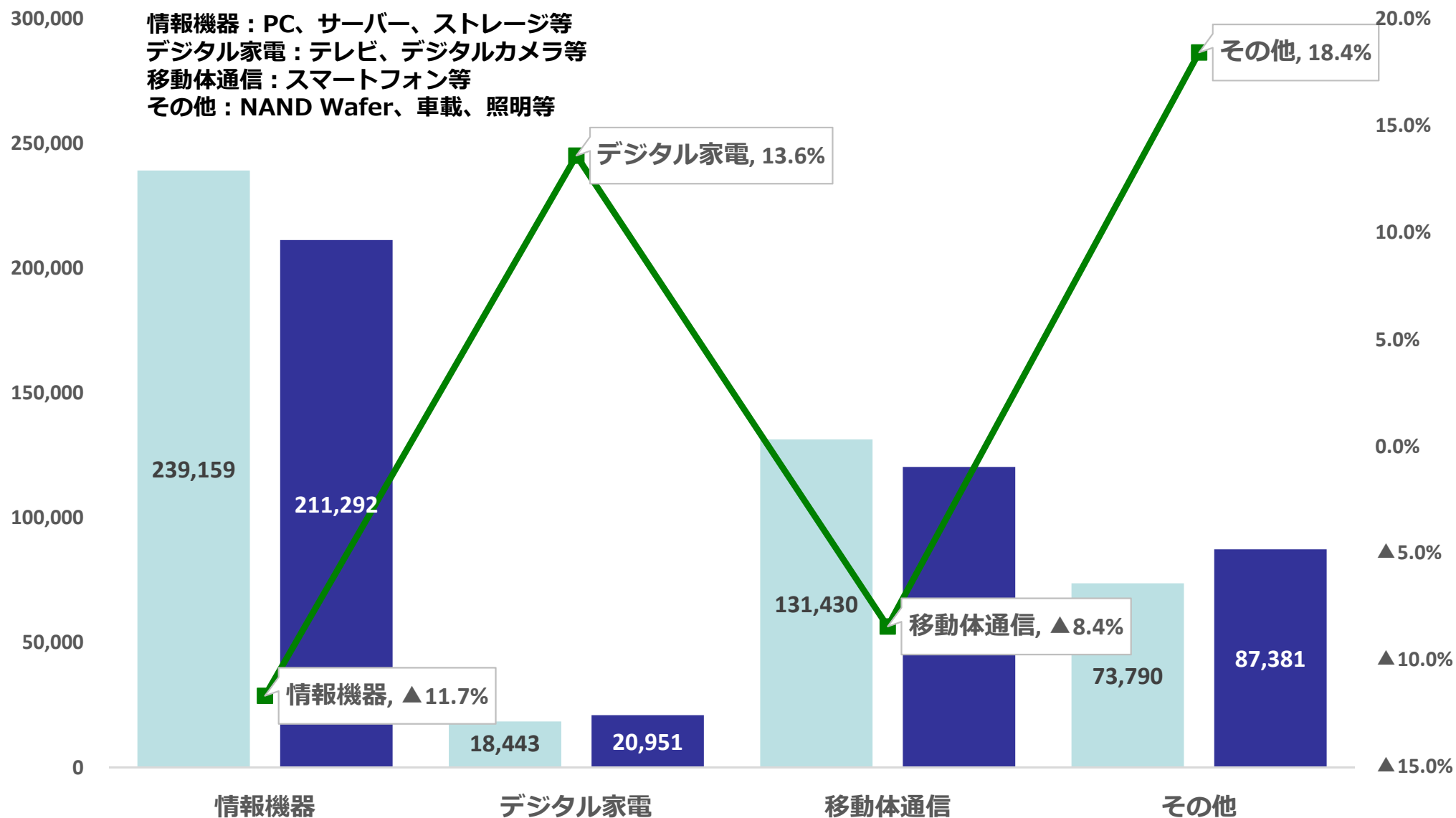
✓ 国内Foundryビジネスの拡大

(単位：百万円)



2023年3月期 用途別 売上高推移

✓ 車載Bizの拡大、売上貢献



(単位：百万円)

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ▲ 増減率

1. サーバー・
ストレージビジネス
の拡大

2. 車載ビジネス
深耕

3. 新規ビジネス
モデル立上げ

4. プライム市場維
持基準適合状況

1. サーバー・
ストレージビジ
ネスの拡大

2. 車載ビジネス
深耕

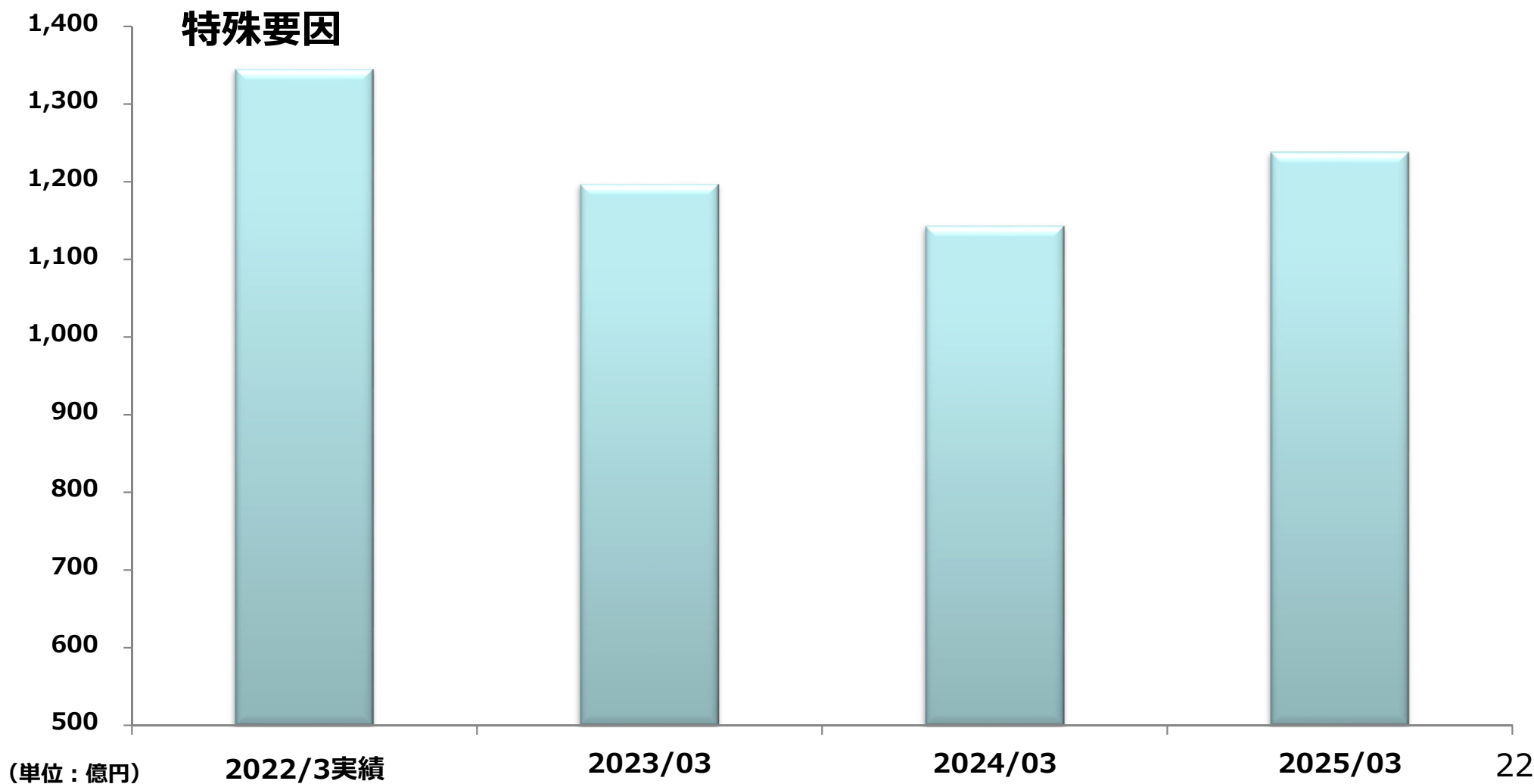
3. 新規ビジネス
モデル立上げ

4. プライム市場維
持基準適合状況

フラッシュストレージビジネス計画



- 2022年3月期は価格急上昇、円安等の特殊要因あり
- 来期は2021年度比価格下落を想定



**1. サーバー・
ストレージビジネス
の拡大**

**2. 車載ビジネス
深耕**

**3. 新規ビジネス
モデル立上げ**

**4. プライム市場維
持基準適合状況**

車載ビジネスの取り組み状況

- メモリーは順調にD/I獲得・進行、ビジネス拡大
- メモリー以外の商材は引き続き提案、種まき

System LSI

コックピット、カメラ
システム向け強化

(Application Processor、Image Sensor)

有機EL

ナビ、コックピット等向けにプロモーション強化

車載関係

LED

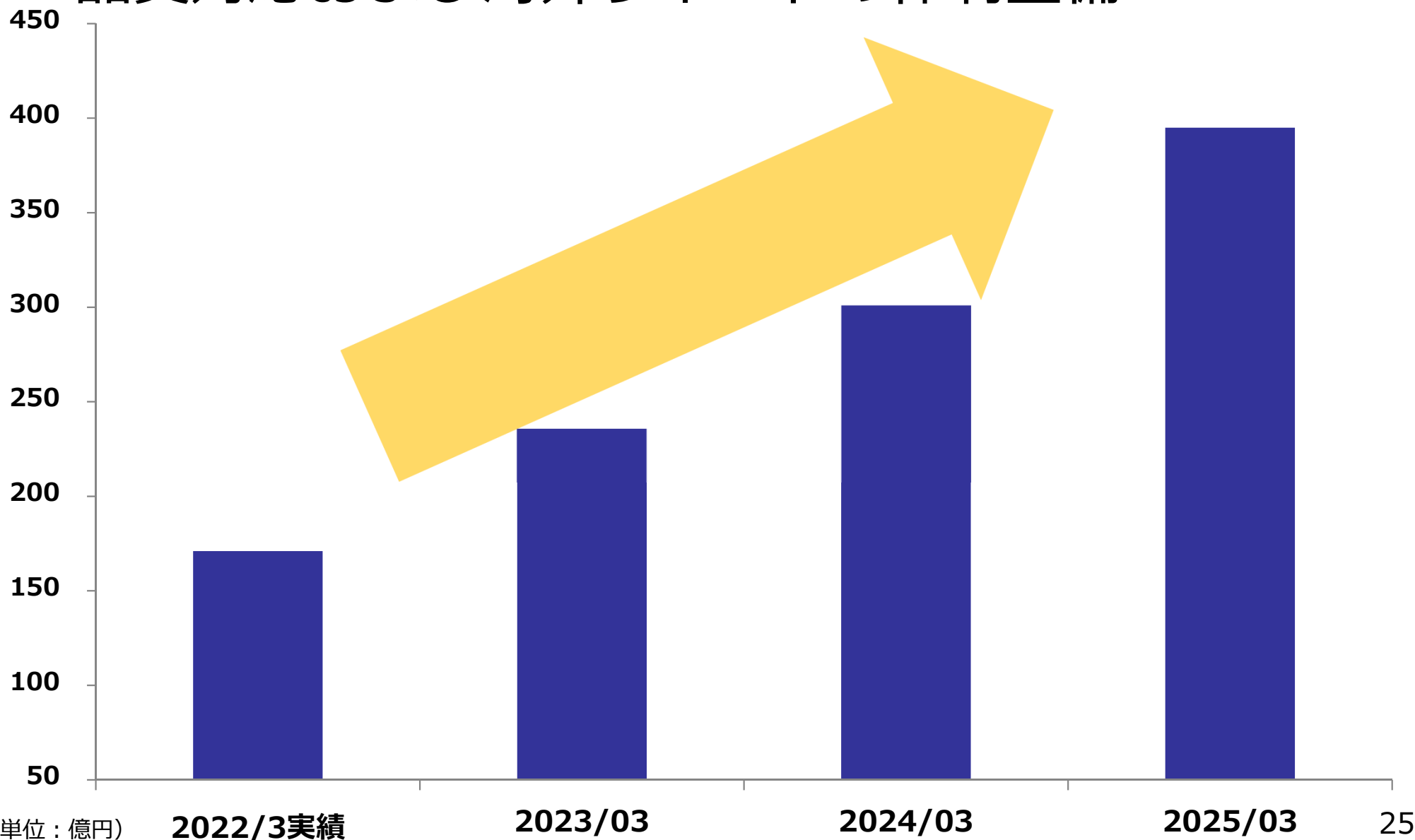
ランプ・インテリア照明向けにプロモーション

EV/HEV向けプロモーション推進

バッテリー

車載向け売上計画

- 車載用商材を拡充し市場を開拓
- 品質対応および海外サポートの体制整備



**1. サーバー・
ストレージビジネス
の拡大**

**2. 車載ビジネス
深耕**

**3. 新規ビジネス
モデル立上げ**

**4. プライム市場維
持基準適合状況**

既存顧客への新規商材拡販および新規顧客の獲得

中長期

短期

- ✓ 既存Line Cardの
新規製品を拡販
- ✓ Gr.会社とのシナ
ジー効果による販
路拡大

- ✓ 新規Biz展開
（周辺部品等）
- ✓ 新規商材発掘の
ための仕組み作り

土台

- ✓ 新規商材検討会の設立
- ✓ 全社向けの販売促進活動

**1. サーバー・
ストレージビジネス
の拡大**

**2. 車載ビジネス
深耕**

**3. 新規ビジネス
モデル立上げ**

**4. プライム市場維
持基準適合状況**

プライム市場上場維持基準適合状況

当社は移行基準日（2021年6月30日）において、プライム市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」について96億円と僅かに基準を充たしておらず、2021年10月28日に「上場維持基準適合に向けた計画書」を提出いたしました。提出した計画書の行動計画に基づき、政策保有株式の相互保有の解消による流通株式数の増加に向けた取り組み、および株主還元策の強化等の実施により、2022年3月31日現在においては、全ての基準に適合していると考えております。2023年3月31日の審査に向け、引き続き上場維持基準の適合を継続する取り組みを進めて参ります。

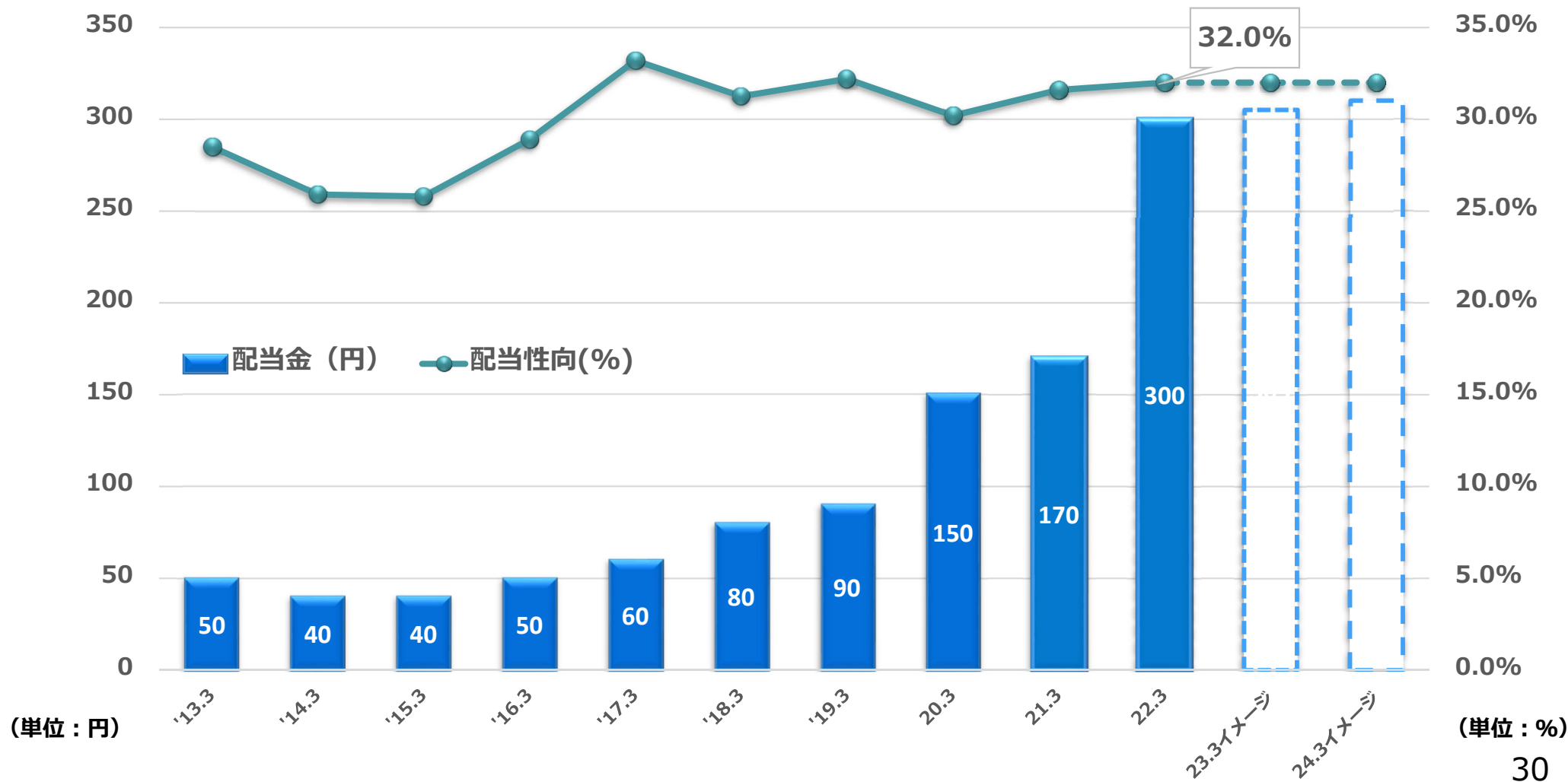
	プライム市場 上場維持基準	一次判定結果 (*1) 2021/6/30 現在	2022/3/31 現在	適合状況
流通株式数	20,000単位	23,885単位	24,746単位	○
流通株式時価 総額	100億円	96億円	159億円	○
流通株式比率	35.0%	35.1%	36.3%	○
売買代金	0.2億円	0.5億円	1.6億円	○

(*1) 「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」（株式会社東京証券取引所より、2021年7月9日付受領）

株主還元の方考え方

中期経営計画における配当方針

- 連結業績に応じた業績連動型の配当
- 安定的な配当の継続を目指し、配当性向の引き上げを図っていく
- 経済環境の変化と資金需要等を勘案し柔軟に対処
- 内部留保は、激変する経済環境下における経営基盤の強化、事業拡大に伴う資金需要への充当および財務体質の強化に活用



I

2023年3月期 連結決算概況

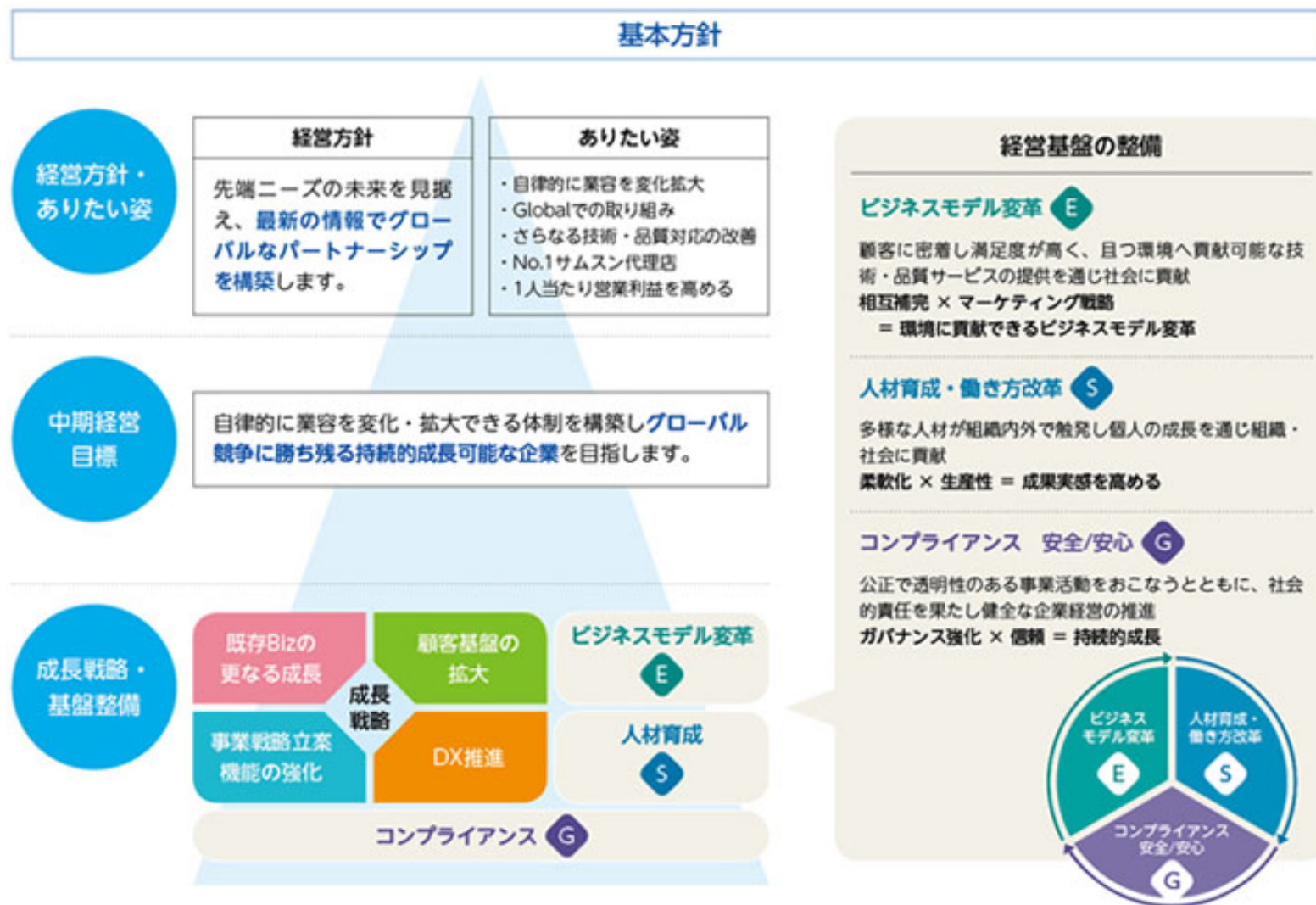
II

2023年3月期 連結業績見通し

III

中期経営計画の進捗

中期経営計画 全体像 (2020年策定)



全社横断で発足した中計PJの取り組みを通じ

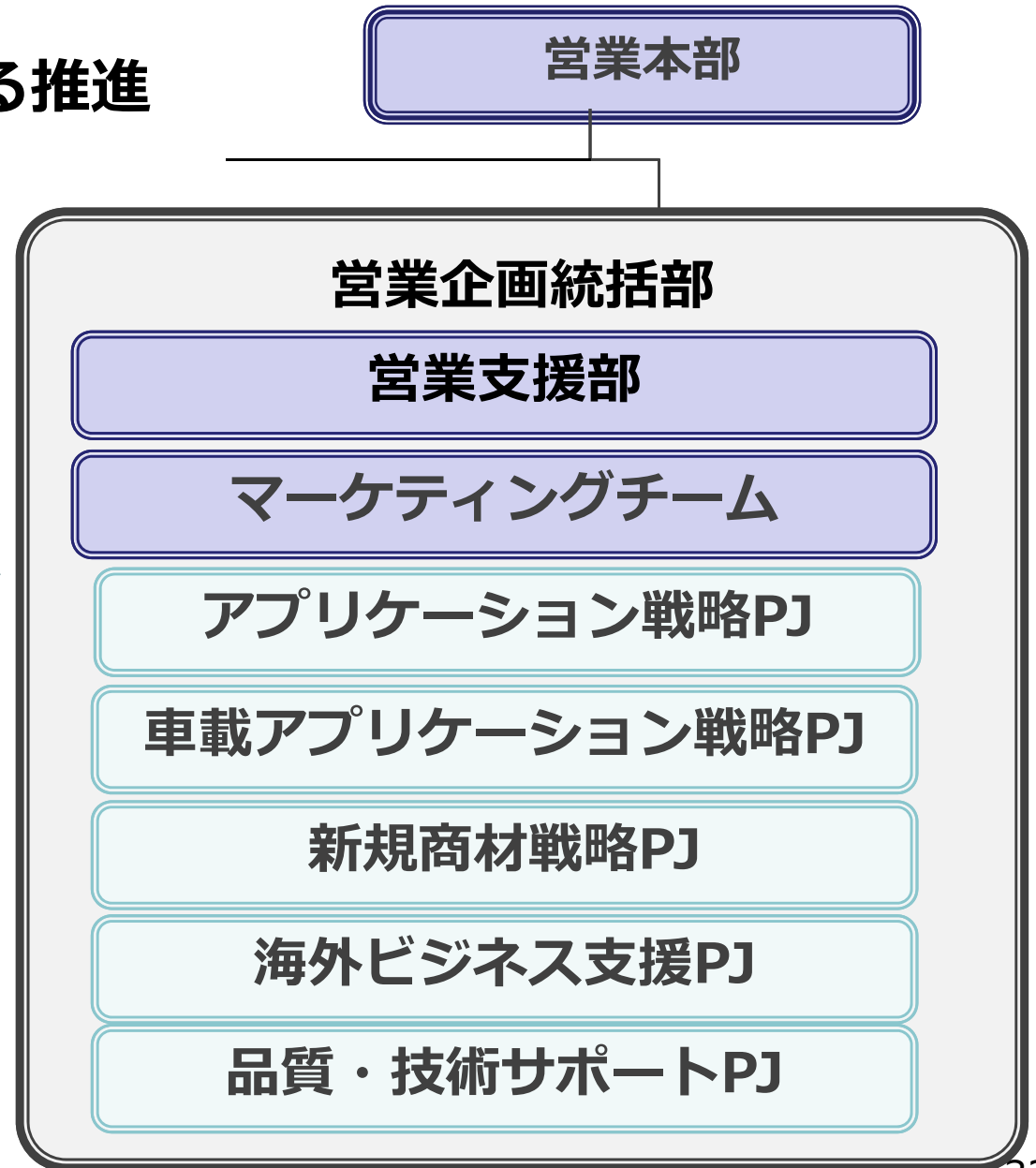
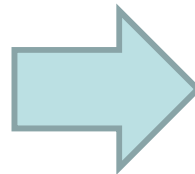
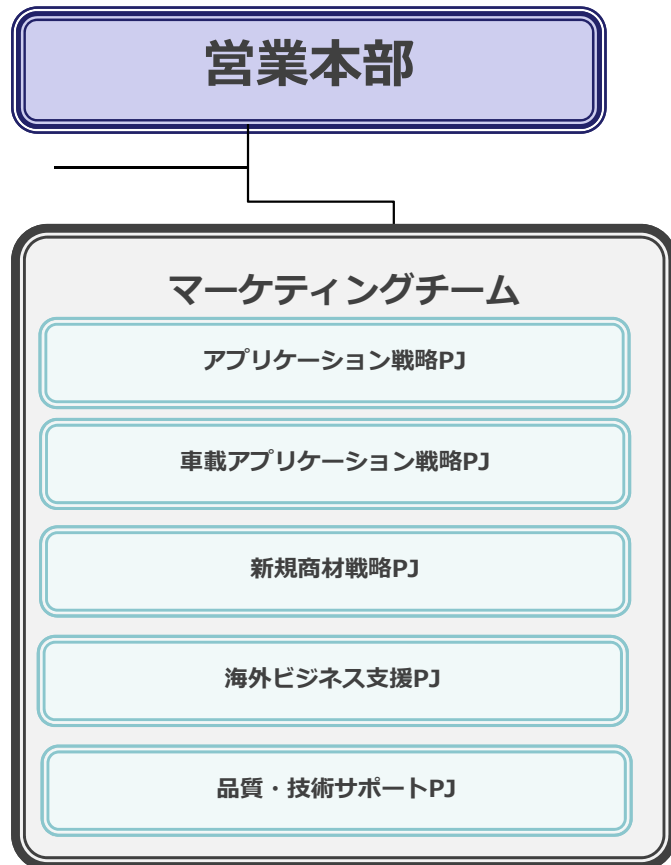
- ✓ 安定した基盤ができ、一部は運用フェーズに突入
- ✓ 各PJメンバーが一人称で考え、全社視点を持ち議論する風土が醸成

中期経営計画 今後の取組み

営業本部直轄下の設置したマーケティングチームを統括部下に変更

➡マーケティング機能の更なる推進

- ✓ 密な業務連携
- ✓ 重複業務の再配分
- ✓ リソースの最適化



中期経営計画 マーケティング機能強化

【情報収集】

- 案件管理
- 顧客管理
- ロードマップ
- マーケット情報

【活用】

- ノウハウの蓄積
- システム化
- 営業マンのLevel平準化

マーケティング
チーム

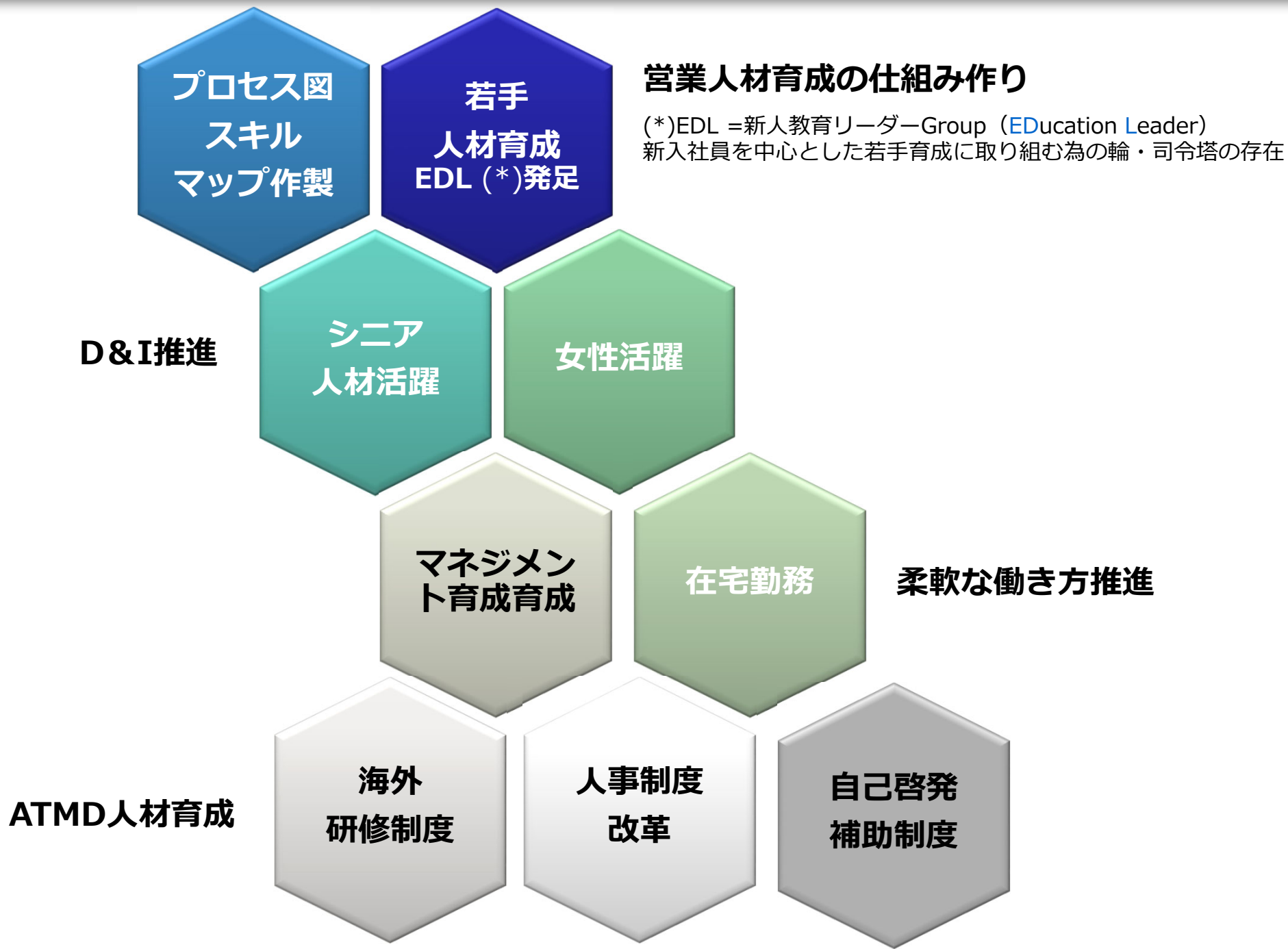
- 新規商材採用プロセス確立
- 課題抽出
- リスクのcare

【品質技術サポート】

- 情報共有、勉強会
- 知見の共有
- 新規商材検討会の設立

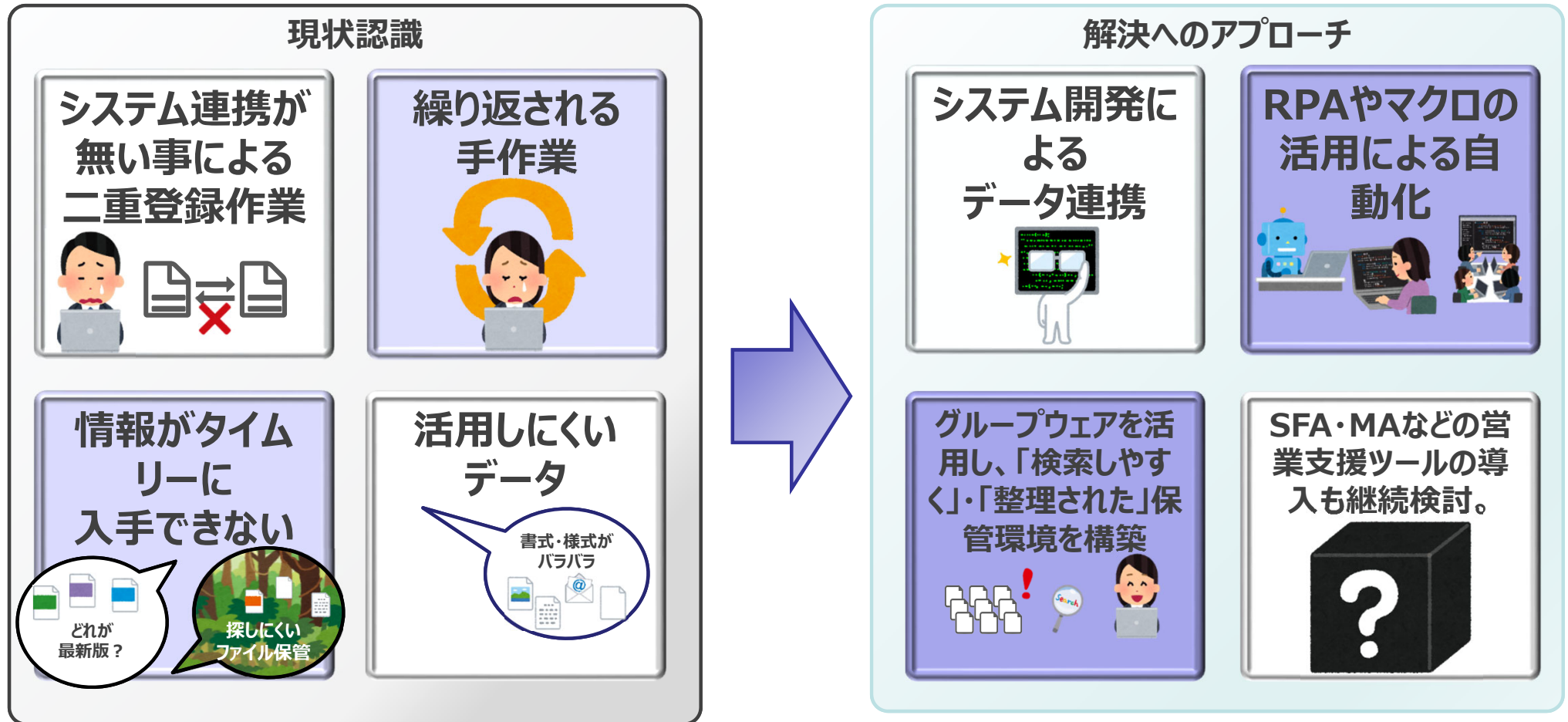
【議論の場の設定】

中期経営計画 人材育成強化取り組み



DX推進PJ取り組み

ITツールの導入によるデータ連携 & 活用強化による業務効率化



<DX2.0への取り組み>

ワークショップやセミナーへの参加を通じ土台形成中
DX2.0の実現に向け模索を続けていく

中期経営計画 経営目標進捗

✓ 本中期経営目標の達成具合を踏まえ、2023年4月に次期中計を公表予定

経営目標

売上高

3,000億円

当期利益

安定的に
30億円

ROE

安定的に
8%を目指す

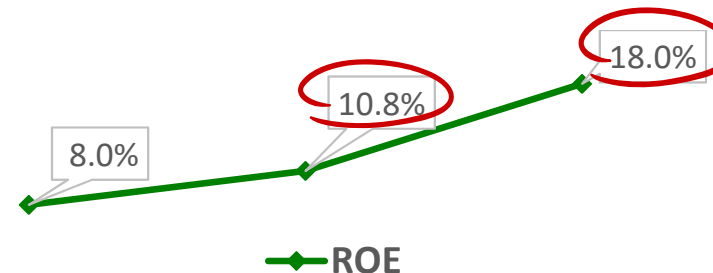
進捗



経営目標 2021年3月期 2022年3月期



経営目標 2021年3月期 2022年3月期



経営目標 2021年3月期 2022年3月期

ご清聴ありがとうございました

Customer

Samsung

Tomen Devices

```
*include "BGIntra.h"  
*include "BGConvertToYuvSW.h"  
  
void greyscaleToY(b_GlobalsPtr  
if(SK_ALL_C  
register short i;  
register short nlines = glob->tes  
register long *localImagePtr = (l  
register long *y1_yuv = (long*)  
er long skipElms = rowByt  
  
localImagePtr++  
localImagePtr++  
+= skipElms;  
  
ck_Height-nlines )  
register long temp1 = y1_yuv[2  
register long temp2 = y1_yuv[3
```